

請願  
署名

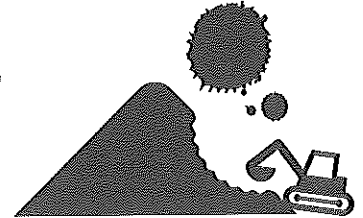
# STOP! HENOKO

本土からの辺野古埋め立て用の土砂搬出計画を止めよう

辺野古新基地建設への土砂埋め立てで

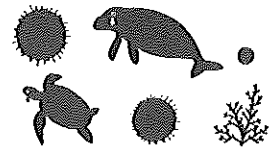
## 西日本から大量の土砂が搬出されます

埋め立てに必要な土砂約2,100万m<sup>3</sup>のうち、約75%は奄美・九州や瀬戸内海など県外7箇所から持ち出される計画です。土砂が持ち去られる地では、深刻な環境汚染が起きています。



## 辺野古の海が破壊され

外来生物により沖縄島の生態系が壊されます



辺野古新基地は、ジュゴン、ウミガメ、サンゴ類の棲む、辺野古の美しく豊かな海を埋めてつくられます。

埋め立ての土砂と一緒に、アルゼンチンアリ、ハイロゴケグモ、オオキンケイギクなど、特定外来生物が沖縄へ運び込まれ、生態系を壊します。

これらの行為は、どれも生物多様性条約やそれに基づいた生物多様性国家戦略に違反する行為です。

衆議院議長 殿 参議院議長 殿

「故郷の土で辺野古の美しい海を埋め立てないでほしい」「故郷の土を基地建設に使ってほしくない」との思いから、西日本からの土砂搬出計画の撤回、および辺野古新基地建設の土砂投入の中止を強く求めます。

名前	住所
例) 山田太郎	例) ○○県○○市○○○○1-2-3

取り扱い団体 〒305-0051 つくば市二の宮 2-1-3 クラフトビル1F つくば・市民ネットワーク ☎029-859-0264

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会 共同代表 大津幸夫 (鹿児島県奄美市)・阿部悦子 (愛媛県今治市)

【署名締め切り】 2019年6月末

【署名用紙送付先】 〒803-0816 北九州市小倉北区金田1丁目3-32-308 八記久美子方

【お問い合わせ先】 阿部悦子 Tel: 090-3783-8332 E-mail:hibi\_etsuko@yahoo.co.jp

※この署名用紙は、目的以外に使用することはありません。

署名用紙を手にした皆さまへ

## 知っていますか？

辺野古を埋め立てる土砂の75%が、「本土」(西日本)から持ち出されます。

私たちの故郷の土が、遠く沖縄の辺野古・大浦湾埋め立てに使われる。それも戦争のための基地建設に！ビックリしました。右の図が搬出計画のあらましです。

- ・土砂搬出予定地では、すでに採石による環境や景観の破壊が進行しています。
- ・アルゼンチンアリ・ハイイログケグモ・オオキンケイギクなど西日本各地に生息する特定外来種が、埋め立て土砂に混入し、沖縄の生態系を攪乱することが危惧されます。そもそも生態系の異なる温帯域の「本土」から、亜熱帯域の沖縄に大量の土砂を移動すること自体が犯罪行為です。
- ・そして何よりも、西日本からの土砂で埋める予定の辺野古の海は、ジュゴン、ウミガメの生息地として世界的にも生物多様性の豊かな海なのです。

1992年、リオデジャネイロ地球サミットで国際社会は生物多様性条約を採択しました。2010年名古屋で開催された第10回締約国会議では、生物多様性の損失を止めるため2020年までの短期目標(愛知目標)を採択し、各国は「沿岸海域の10%を海洋保護区にする」、「外来生物の制御と根絶を図る」ことに合意しました。日本政府がその実行責任を負っていることは、いうまでもありません。

その責務を果たそうとすれば、生物多様性の豊かな辺野古・大浦湾は、税金で埋めるのではなく、海洋保護区にすべき海であることは明らかです。また、土砂移送に伴う外来種侵入防止対策もないまま工事を強行することもあり得ないことです。

8月31日、沖縄県は辺野古工事を違法として埋立承認を「撤回」し、工事はストップしています。9月30日の県知事選では、翁長雄志前知事の遺志を継ぐ玉城デニーさんが、過去最高となる40万に近い得票を得て新知事に当選しました。

玉城デニーさんを知事に押し上げた沖縄の民意に、今度は「本土」の私たちが応える番です。辺野古の新基地を断念させるため、「本土」から辺野古埋め立て土砂を搬出させないという声を高めていきましょう。それは「本土」側の私たちの責任です。

一人でも多くの方に、この署名が届き、署名に参加していただけることを願っています。

2018年10月

